

活動成果報告書

令和2年度（第24回）「チヨダ地域保健推進賞」

活動テーマ

「ハッピーベビークラブ」で育児を楽しむ意識づくり
～withコロナ時代の教室運営とつながりについて～

グループ名称・氏名(グループの場合は代表者名)

燕市 健康福祉部 健康づくり課

代表者：篠田 有華

勤務先：燕市役所

所 属：健康福祉部 健康づくり課

所在地：〒959-0295

新潟県燕市吉田西太田1934

TEL：0256-77-8182

FAX：0256-92-2119



◇活動方針

燕市では、栄養・歯科・沐浴や妊婦体験など子育てに必要な知識と、仲間づくり・気持ちの共有・つながりづくりといった子育てに大切な意識の2つを軸に、妊婦・両親学級「ハッピーベビークラブ」を実施してきた。今年度の教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、少人数制・内容凝縮・時間短縮で、夫婦のつながり、保健センターとのつながりに重点を置いた教室に取り組んでいる。

◇活動内容とその成果

【活動内容】

① これまでの教室での取り組み

以前の教室は、妊娠・出産を安全・安心に行うための知識中心の内容であった。時代が進み、病院でも安全・安心に妊娠・出産ができる教室が充実してきており、参加者も年々減少し、参加者の期待に沿っているのか教室運営を考える時期に来ていた。近年、気軽に手軽に情報が手に入る時代となり、核家族化も進み、参加者のニーズも変化してきた。行政で行う教室は「何を大切にすべきか?」「行政が行う意味は?」をスタッフで語り合い、教室の意義を模索してきた。そして、出産後も夢を持ち安心して育児を行うための「つながりづくり(夫婦・地域・センター)」に主眼を置き、気持ちの交流ができる場づくりを意識した教室を始めて15年以上経過した。

教室でつながりができた夫婦が出産の喜びと大変さを分かち合う集いの場として「産まれたよ会」を教室と同日に実施した。先輩パパママとして出産を待ちわびる参加者と赤ちゃん体験や出産育児に向けた気持ちの交流を行うことが、親としての自信につながるきっかけにもなっていた。

活動成果報告書

●これまでの教室の様子●



参加者メッセージ 乳幼児健診会場に掲示



先輩夫婦・赤ちゃんとの交流で、早く自分の赤ちゃんに会いたくなったよー。

“気持ちの交流”の仕方もいろいろ



夫婦で似顔絵を描くと、似ている子が生まれるって本当!

② コロナ禍での取り組み

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、分ち合いを中心として15年継続してきた教室の内容を変更せざるを得なくなった。また、今年度、教室の見直しを図るために行っているアンケートから抱き方やおむつ交換、沐浴の仕方など育児に対する手技の希望が多く、少子化で赤ちゃんと接する機会が少ない時代の課題が見えてきた。そこで、三密を避け、短時間で参加者の満足度の高い教室の運営について検討を重ね、1回完結型予約制・少人数制で1時間に内容を盛り込んだ教室にし、出産後の関りが多くなる保健センターとのつながりづくりを重点とし、スタッフが積極的にプラスメッセージを送るように意識して運営している。

●コロナ禍での教室のながれ●



【活動成果】

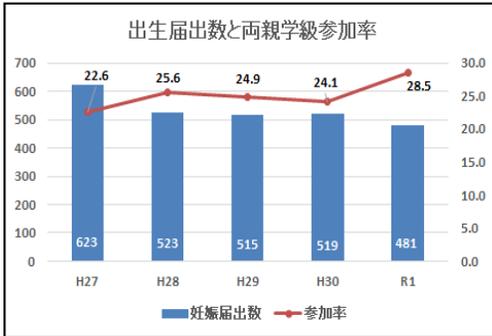
近年、妊娠届出数は減少しているものの、両親学級の参加は毎回30組、参加率は約25%を維持している。経産婦のリピーターもおり、参加者の満足度（とても満足34.7% 満足61.8%）も高く、夫がより妊娠・出産を自分事に考える機会にもなっている。アンケート結果をみても、燕市が大切にしてきた2軸は、15年以上経過した今でも求められているものだった。今年度は毎月土曜日開催にしたことにより、日程の選択ができ、夫婦で参加しやすくなったと好評を得ている。

また、教室で意識したつながりづくりは、保健センターで実施している2か月児育児相談会の参加率が、平成23年度の38.1%から平成30年度64.6%と上昇していることから、事業につながり、切れ目のない支援につながったものと考えられる。また妊婦同士のつながりでは、育児相談会で再会し、誘い合っ子育て支援センターにも出向くなどの広がりもみられている。これは、教室の中で、保健師・栄養士がその人の良さを引き出そうとする姿勢で運営したことにより、スタッフ・仲間とのつながりが増え、不安を軽減し、育児に前向きになれていると推測する。

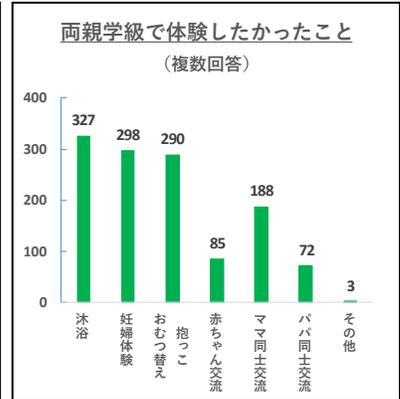
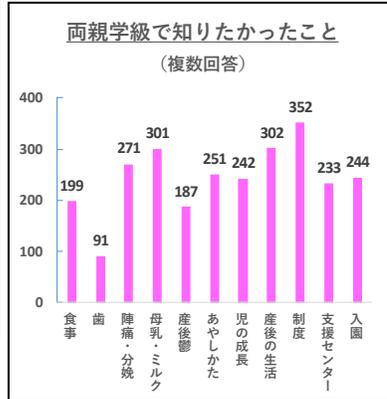
平成27年度からは子育て世代包括支援センター機能を備えた窓口が開設され、より妊婦の状況を把握したうえで教室でも関わるのが可能になった。関わった妊婦と産後も分ち合う場面が増え、スタッフのモチベーションアップにもつながり、笑顔で従事できる教室となっている。

活動成果報告書

●出生届出数と両親学級参加率●



●産婦アンケート結果●



●コロナ禍両親学級の様子●



自然と笑顔あふれる教室！

助産師、保健師、管理栄養士からのプラスメッセージ



◇今後の計画

【PRしたいこと】

時代に応じて伝える知識の内容が変わっていく。時代の変化とともに安産体操から沐浴体験へ、そして、今は抱っこ・おんぶ・あやし方やオムツ交換などについて学ぶ機会が求められる。また、withコロナの新しい生活様式の時代では、集団指導から個別指導、直接面接からオンラインへの転換を余儀なくされている。

しかし、どの時代であっても、スタッフ同士が教室への想いを語り合い教室に夢を持つことで、目標を共有し、楽しんで教室運営ができ、それが結果的に参加者の育児を楽しむ意識づくりにつながっている。また、日常的にスタッフ同士が気持ちを共有することを意識することで、若く体験のないスタッフも、妊婦と気持ちの分かち合いができるスタッフに育っていると感じる。

【今後の計画】

妊婦同士の友達づくりや先輩パパママ赤ちゃん交流の時間を設けていたことが、安心感や育児を楽しむ気持ちづくりにつながっていた。withコロナの今年度は、短時間でも参加者同士の交流の時間をもち、つながりづくりをしたい。

感染防止の意味だけでなく、SNS でつながりを求めている世代が親になる時代であるため、個別やグループでのオンライン相談の環境整備についても進めていく。

「教室で学んだことは家族に言われるより素直に聞ける。おんぶの仕方教えて。」と声をかけられた。そんな声一つ一つを大切に、三密にならずにつながりづくりをするにはどうしたらよいか、新しい時代に向け、幅広く考えて見直していきたい。

妊婦から子育てまで気軽に相談できる
オンラインでの子育て相談

11月2日(月)から予約開始！
 高市のオンライン子育て相談が
 令和2年11月6日(金)からスタートします！

日時：火曜日と金曜日(祝日を除く)
 ① 13:30 - ② 14:30

相談時間は約30分程度
 ※上記の日程は月々ご希望の方、他の時間帯を
 ご希望の方は個別相談センターまでお問い合わせください。

対象：高市院 高市・豊野中の人
 申込み：【事前予約制】
 高市かたん人事務局から申し込み可能です
 詳細は専用ホームページをご覧ください

※ZOOM利用には専用PCまたはタブレットが必要です。講師は4名程度が参加いたします。
 ※PC・タブレットはご用意をお願いします。

高市産科 高市産科クリニック 産科センター 電話 0254-913-1441

